

やさしさは人と人をつなぐ

日立市らぼーる協会

茨城県 平成 25 年度「ハーモニー功労賞」
団体の部 受賞

報 告 会

式 次 第

第1部 式 典 10:30~10:50

会長挨拶	日立市らぼーる協会	皆川 悠美子
来賓祝辞	日 立 市 長	吉 成 明 様
	日立市議会副議長	村田 悦雄 様
来賓紹介		

第2部 講演会 10:50~11:50

講 師	滝田 薫 様	茨城キリスト教大学教授	茨城キリスト教学園常務理事
		政治と人間、生活と政治、女性学などを担当	

演 題	「これからの時代と社会 男女共同参画の行方」
-----	------------------------

休 憩

第3部 会 食 12:00~13:00

乾 杯	日 立 市 議 会 議 員	助川 吉洋 様
祝 辞	日立市教育委員会教育長	中山 俊恵 様
特別出演	澤俊子箏合奏団	澤 俊 子 様 生田流箏曲三絃師範
	加藤 悦山 様	都山流尺八師範

日 時	平成26年1月18日(土)	午前10時30分~午後1時
会 場	ホテル天地閣	2階 はまゆうの間

ご挨拶

私どもらぼーる協会は、このたび茨城県より平成 25 年度「ハーモニー功労賞」団体の部として表彰をいただく栄誉にあずかりました。これもひとえに皆さま方のご理解・ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

当協会は、平成 10 年に“男女共同参画社会の早期実現”の拠点施設として発足いたしました。さらに平成 18 年からは日立市女性センター及び鮎川体育館管理運営の指定管理者として、現在に至っております。

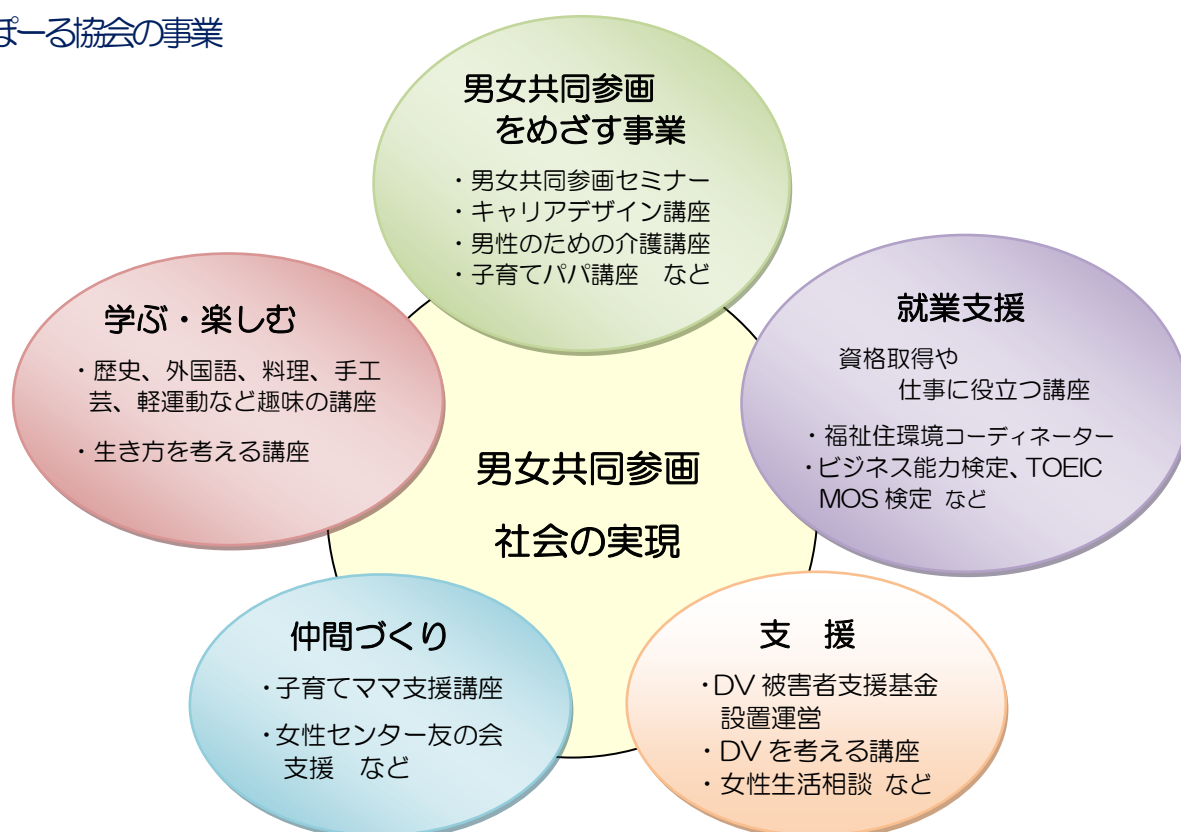


平成 23 年 3 月 11 日に発生しました東日本大震災では、情報伝達の意味・人と人とのつながりや助け合うこと、女性の立場でどう困難を乗り越えていくかなど、人として生きるための大切なものを学ぶことができました。

私たちは、男女共同参画社会実現には避けて通れない“女性の弱者支援”、特にドメスティック・バイオレンス被害者への支援、さらに男女のあらゆる意味での“自立支援（心、生活力、経済力）”を常に念頭に置き、事業を展開してまいりました。

「やさしさは人と人をつなぐ」をキャッチフレーズに、「女性が輝く社会」「男女格差のない社会」をめざして、今後も足元を深め多角的に取り組んでまいりたいと存じます。皆さまからのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

らぼーる協会の事業



Mini

協会 タイムトラベル

H10 協会発足！

前身「日立市婦人の家協力会」

- ・理事 15 人、企画委員 17 人でスタートした



ツインディスク・オルゴール



DVを考える
パート1

H11

子育てフォーラム

- ・DVへの取り組みスタート
- ・就業支援講座も増加
- ・郷土の女性を多く取り上げ始める

「はつらつネット21」

女と男のライフセミナー



H13

- ・菓子、コーヒー類等物品販売品目が広がる
- ・トイレにベビーシート設置
- ・就業支援や働く男女のための事業が充実

H12

- ・国の「緊急雇用対策事業」を1年間実施
- ・介護講習は3級から2級課程へ移行
- ・「社会問題に取り組む講座」「暮らしに役立つ講座」やアサーショントレーニングなど新規事業を取り上げる



緊急雇用対策事業
パソコン講座



社会問題に取り組む講座

紙芝居に夢中！
「3,4歳児の親子教室」



喫茶らぼーる

H15

- ・15年度をもち「喫茶らぼーる」休止
- ・介護2級講座は定員を40人に増員

就業支援講座には男性受講者も増加



各紙に掲載された
「DVパート4」の取り組み

H14

- ・「DVを考えるパート4」は他団体との連携強まる
共催：(財)女性のためのアジア平和国民基金
後援：内閣府・外務省・茨城県

DVへの取り組み、一歩前に進む

ホームページ作成中



H16

- ・ホームページやミニギャラリー開設
- ・「DV被害者支援チャリティーコンサート Part 1」スタート
200人越えのライブ開催でおおいに盛り上がり4年間続けた
- ・介護2級講座は40人募集に対し90人以上が希望
20~30代が主流となる

鮎川体育館「月曜開館」スタートで、年末年始以外は年中無休



Part 1.2 《eco》

「DV被害者支援
チャリティーコンサート」



Part 3 《Sugar Craft》



Part 4 《ソフトケース》

H17

- ・「災害に備えて-新潟県中越地震より学んだこと-」講座開講
- ・韓国語、英語ばかりでなく日本文化なども含め、幅広い講習会を実施

ライフセミナーB
「ピンクリボンのはなし」



「ブリザードフラワー
で母の日を祝う」

H18 第1回 指定管理者

- ・女性センター「祝日開館」スタート
- ・「女性生活相談」スタート
- ・「DV被害者支援基金」設置

弱者支援を含め、協会の独自性が顕著！！

H19

- ・子どもの部屋利用者が、年間2,400人に上り子どもの部屋利用が増加
- ・いろいろな学べる「らぼーるサロン」スタート



プロに学ぶ
コーヒー講座

H20

協会発足 10 周年

- ・PC、年金、TOEIC、創業塾、介護講座など女性の自立に向けた講座を更に後押ししていく
- ・DV 講座は、学校にも浸透



《アンネのバラ》植樹



H21

日立市制 70 周年感謝状受賞

- ・「MOS」検定受験準備講座スタート



訪問介護員
養成 2 級講座

3月に発生した大震災により女性センター、
鮎川体育館も被害を受けた

H23.3.11 (金)
東日本大震災発生！

H22

- ・「経済的に困難な状況にある女性のためのパソコン講座（パソコン及び就労応援フェア）」 2年間継続事業実施

助成先：NPO 法人 全国女性会館協議会
助成企業：マイクロソフト社

弱者支援、就労支援、全国的なネット
ワークや地域連携が強化された



グリーンカーテンで
県より特別賞受賞



就労応援講座

H23 第2回 指定管理者

国庫補助事業

- ・「DV対策補助事業」4事業実施
- ・3年間託児費無料制度を導入
- ・若い父親の育児参加を支援
- ・ホームページリニューアルと同時にツイッター開始
より迅速に情報が伝わるようになった

女性センター災害復旧工事：
H23.11～H24.3 月



現在の
ホームページ

林陽子氏を迎えて



DV 対策補助事業
「女性と人権」

たくさんの学生サポーター
の応援で「SNS 講座」実施



H24

- ・「ビジネス能力検定」受験準備講座、「SNS 講座」開講
- ・就業支援講座参加者は 30～40 代が主流で、男性利用者も 3 割に

体育館耐震補強工事：
H24.8～H25.2 月末



好評を得た託児無料の試み



「パパが作る家族記念日の料理」

H25

- ・制度変更により介護 2 級講座は休止
- ・「福祉住環境コーディネーター」「ビジネス能力検定」「MOS 検定」「TOEIC600 点」など、多数の受験準備講座を開講

男女ともに自立に
向けての支援に力
を入れる

DV 支援は 15 年目を
迎え、ハーモニー
功労賞を受賞！

君ができる限り

ー ジョン・ウェズリー（イギリスの神学者）ー

君ができるすべての善を行え、
君ができるすべての手段で、
君ができるすべての方法で、
君ができるすべての場所で、
君ができるすべての時に、
君ができるすべての人に、
君ができる限り。

Do all the good you can,
By all the means you can,
In all the ways you can,
In all the places you can,
At all the times you can,
To all the people you can,
As long as ever you can.



一日立市男女共同参画
社会シンボルマーク

日立市らぼーる協会（指定管理者）

日立市鮎川町 1-1-10（女性センター内）

電話 0294-36-0554 Fax 0294-38-2460

ホームページ <http://rapporthitachi.jp/>

Twitter（ツイッター）@rapport_hitachi